

DataTraveler® Vault Privacy 3.0 - ユーザーマニュアル



目次

本マニュアルについて	3
システム要件.....	3
推奨事項.....	4
セットアップ（Windows 環境）	5
デバイスの初期化（Windows 環境）	6
デバイスの使用（Windows 環境）	10
デバイスのオプション（Windows 環境）	11
セットアップ（Mac 環境）	13
デバイスの初期化（Mac 環境）	14
デバイスの使用（Mac 環境）	18
デバイスのオプション（Mac 環境）	19
デバイスの初期化（Linux 環境）	22
デバイスの使用（Linux 環境）	24
ヘルプとトラブルシューティング	25
デバイスのロックアウト	25
パスワードを忘れた場合（Windows および Mac）	26
ドライブレターの競合（Windows OS）	27
エラーメッセージ	28
DTVP 3.0 Linux コマンド	29

本マニュアルについて（06122023）

本ユーザーマニュアルは、Kingston の DataTraveler® Vault Privacy 3.0 Edition（以降、DTVP 3.0）の標準工場出荷時イメージに基づくセキュア USB デバイス、つまりカスタマイズが実装されていないデバイスに対応しています。

システム要件

PC プラットフォーム

- Pentium III プロセッサまたは同等以上の処理速度
- 15MB のディスク空き容量
- USB 3.0、USB 2.0
- 最後の物理ドライブの後に続く 2 つの連続したドライブレターが利用可能*

PC OS サポート

- Windows® 11
- Windows® 10

Mac プラットフォーム

- 15MB のディスク空き容量
- USB 3.0、USB 2.0

OS サポート

- macOS 10.15.x - 13.x.x

Linux Platform

- 5MB のディスク空き容量
- USB 3.0、USB 2.0

OS サポート

- Linux v4.4+ カーネル

Linux の一部のディストリビューションでは、ターミナルアプリケーションウィンドウで DTVP 3.0 コマンドを正しく実行するために、スーパーユーザー（ルート）権限が必要となります。



図 1.1 - USB 3.0 ポート



図 1.2 - DTVP 3.0

*注：27 ページの「ドライブレターの競合」を参照。

推奨事項

DTVP 3.0 デバイスに十分な電力が供給されるようにするには、**図 1.3** のように、ノート PC やデスクトップ PC の 3.0（または 2.0）ポートに直接挿入してください。DTVP 3.0 を、**図 1.4** のように、キーボードや USB 給電ハブなどの USB ポートを備えた周辺デバイスに接続することは避けてください。



図 1.3 - 推奨される使用方法

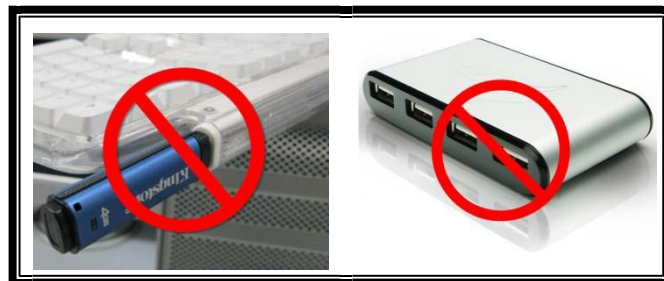


図 1.4 - 推奨されない使用方法



セットアップ (Windows 環境)

1. DTVP 3.0 をノート PC またはデスクトップ PC の利用可能な USB ポートに挿入し、Windows が検出するのを待ちます。

- Windows 11/10 の場合、[図 2.1](#) のようにデバイスドライバーの通知が表示されます



図 2.1 - デバイスドライバーのインストール

新しいハードウェアの検出が完了すると、Windows は初期化プロセスを開始するように求めます。

- Windows 11/10 の場合、[図 2.2](#) のような自動再生ウィンドウが表示されます

2. [Run DTVP30_Launcher.exe] を選択します。

Windows が自動再生しない場合は、CD-ROM パーティション ([図 2.3](#)) を参照し、手動で DTVP30_Launcher プログラムを実行することができます。また、これにより、初期化プロセスが開始されます。



図 2.2 - 自動再生ウィンドウ

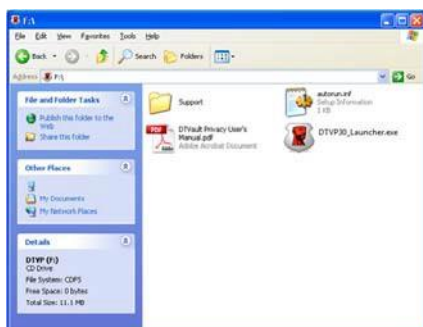


図 2.3

(注：自動再生ウィンドウのメニューオプションは、お使いのコンピュータに現在インストールされているプログラムによって異なる場合があります。自動実行は自動的に初期化プロセスを開始します)。

デバイスの初期化（Windows 環境）

1. ドロップダウンメニューから言語設定を選択し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 3.1](#)）。



図 3.1 - 言語選択

2. ライセンス契約を確認し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 3.2](#)）。
（注：続行するにはライセンス契約に同意する必要があります。同意しない場合、[Next]（次へ）ボタンは無効となります。）



図 3.2 - ライセンス契約

3. DTVP 3.0 のデータを保護するためにパスワードを作成します。図 3.3 のように、[Password]（パスワード）の欄に入力し、[Password Confirmation]（パスワードの確認入力）の欄に再入力します。初期化プロセスを続行するには、作成したパスワードが以下の条件を満たしている必要があります。

1. 6 文字以上（最大 16 文字）。
2. 以下のうち 3 つ以上を含む：
 - 大文字、小文字、数字、特殊文字（!、\$ など）

パスワードのヒントを入力することもできますが、必須ではありません。ヒントの欄は、パスワードを忘れた場合に、手がかりを提供します。（注：ヒントはパスワードと同じにはできません）。



図 3.3– Password セットアップ

4. テキストボックス（[図 3.4](#) 参照）に連絡先情報を入力してください（注：これらの欄に入力する情報は、ステップ 3 で作成したパスワードを含むことはできません。ただし、これらの欄は任意であり、空白のままにすることもできます）。

- [Name]（名前）の欄には最大32文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
- [Company]（企業）の欄には最大 32 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
- [Details]（詳細）の欄には最大 156 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。

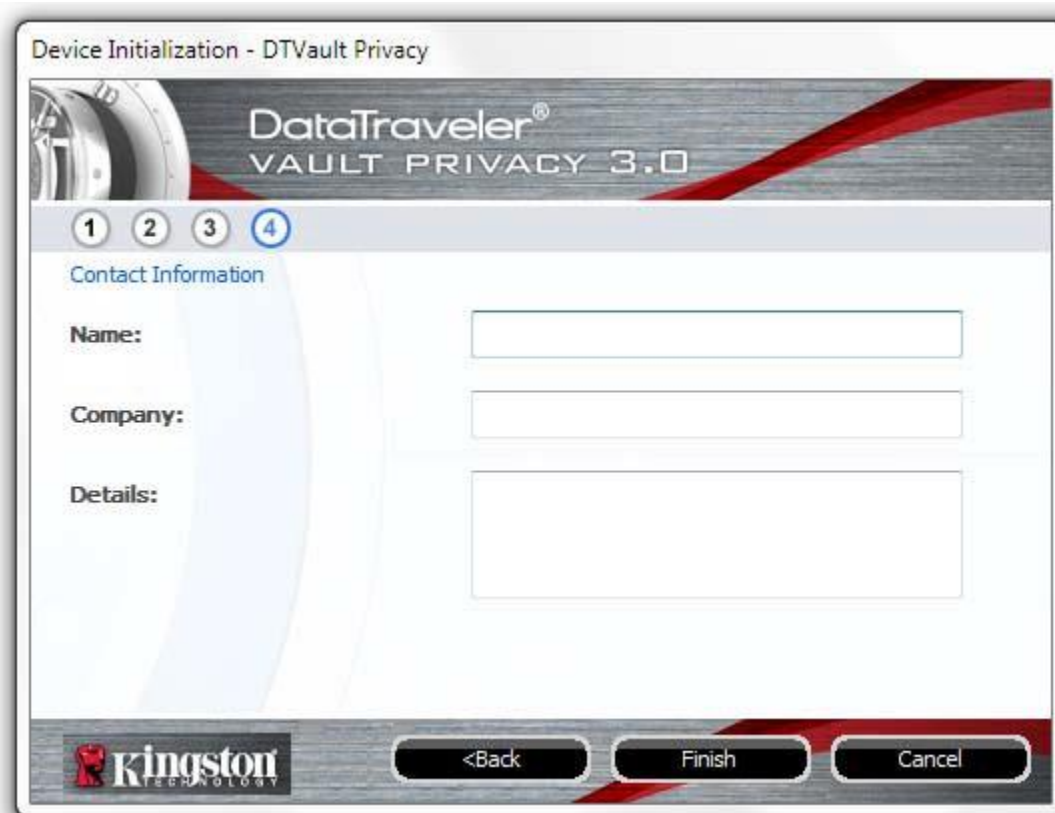





図 3.4 - 連絡先情報

5. [Finish]（完了）をクリックしてデバイスの初期化を完了します。


DTVP 3.0 はセキュアデータパーティションをフォーマットし（ 3.5）、完了すると通知します（ 3.6）。

6. [OK] をクリックして、続行します。



 3.5 - DTVP 3.0 のフォーマット



 3.6 - フォーマット完了

初期化完了。

*注：時間は、システムのハードウェアおよびDTVP 3.0 ドライブの容量によって異なる場合があります。

デバイスの使用（Windows 環境）

DTVP 3.0 が初期化されたら、パスワードを使ってデバイスにログインすることで、セキュアデータパーティションにアクセスし、デバイスのオプションを利用することができます。これを行うには、以下の手順に従います。

1. DTVP 3.0 をノート PC またはデスクトップ PC の USB ポートに挿入し、パスワードを入力します（[図 4.1](#) 参照）。
2. パスワードを入力したら、[Login]（ログイン）ボタンをクリックして次に進みます。



図 4.1- ログインウィンドウ

- 正しいパスワードが入力されると、DTVP 3.0 のロックが解除され、デバイスの使用を開始できます。
- 不正なパスワードが入力された場合、ログインに失敗したことを示すエラーメッセージが [Hint]（ヒント）欄のすぐ下に表示されます。

（注：ログインプロセス中、不正なパスワードが入力された場合、正しいパスワードを入力し直すことができますが、ログインに失敗した回数を記録するセキュリティ機能が搭載されています*。この回数が既定の 10 回に達した場合、DTVP 3.0 はロックされ、次回使用前にセキュアデータパーティションのデバイスフォーマットが要求されます。これは、**DTVP 3.0 に保存されているすべてのデータが消去されることを意味します**。この機能の詳細については、20 ページの「デバイスのロックアウト」を参照してください）。

3. デバイスにログインする前に、[Read-Only Mode]（読み取り専用モード）欄を選択することで、読み取り専用モードのセキュアデータパーティションのロックを解除することができます（「書き込み禁止モード」とも呼ばれます）。読み取り専用で認証されると、DTVP 3.0 のコンテンツを開いたり閲覧したりすることはできますが、コンテンツの更新、変更、消去はできません。（注：また、読み取り専用モードの場合、11 ページで説明する DTVP 3.0 メニューにフォーマットオプションが表示されません）。

読み取り専用モードでログインしており、セキュアデータパーティションへの完全な読み取り/書き込みアクセスがある状態でデバイスのロックを解除したい場合は、DTVP 3.0 をシャットダウンし（12 ページを参照）、認証時に [Read-Only Mode] チェック（読み取り専用モード）チェックボックスをオフにしてログインし直す必要があります。

*注：デバイスの認証に成功すると、ログイン失敗カウンターはリセットされます。

デバイスのオプション（Windows 環境）

デバイスにログイン中、Windows タスクバーの右隅に DTVP 3.0 アイコンが表示されます（[図 5.1](#)）。（注：Windows 11/10 ユーザーは、DTVP 3.0 アイコンにアクセスするために、タスクバーの上矢印ボタンをクリックする必要があります（[図 5.2](#)）。Windows 8 では、「デスクトップ」アプリケーションから同様のユーザーエクスペリエンスを提供しています。

DTVP 3.0 アイコンを一度クリックすると、以下のメニューが表示されます。

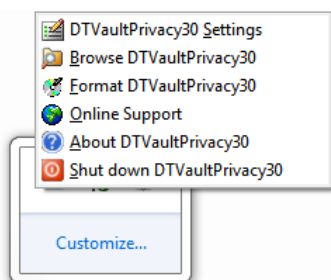


図 5.1 - DTVP 3.0 メニュー

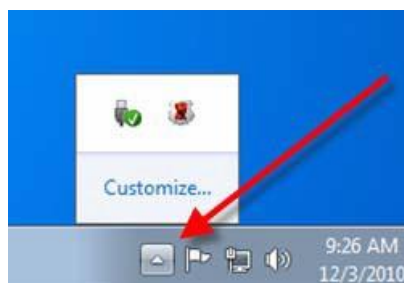


図 5.2 - タスクバーの DTVP 3.0 アイコン
(Windows 11/10 ユーザー)

DTVault Privacy Settings（DTVault プライバシー保護設定）

- パスワードやヒントの変更が可能（[図 5.3](#)）
- 連絡先情報の追加・確認・変更が可能（[図 5.4](#)）
- 現在の言語選択の変更が可能（[図 5.5](#)）

（注：セキュリティ上、これらの設定を更新/変更するには、現在の DTVP 3.0 のパスワードが必要です）。



図 5.3
パスワードの変更



図 5.4
連絡先情報



図 5.5
言語の選択

Browse DTVault Privacy (DTVault プライバシー保護のブラウズ)

- ログイン中にセキュアデータパーティションの内容を参照可能

Format DTVault Privacy (DTVault プライバシー保護のフォーマット) *

- セキュアデータパーティションのフォーマットが可能 (警告: データはすべて消去されます)。 (図 5.6)

Online Support (オンラインサポート、インターネット接続が必要です)

- インターネットブラウザを開き、
<http://www.kingston.com/support/> から
サポート情報にアクセス

About DTVault Privacy (DTVault プライバシー保護について)

- アプリケーションおよびファームウェアのバージョン情報を含む、DTVP 3.0 に関する詳細情報を提供 (図 5.7)。

Shutdown DTVault Privacy (DTVault プライバシー保護のシャットダウン)

- DTVP 3.0 を適切にシャットダウンし、
システムから安全に取り外す



図 5.6 - フォーマットの警告

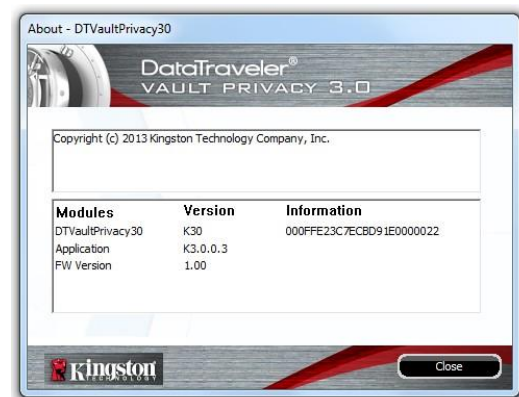


図 5.7 - DTVP 3.0 について

*注: Windows 11、Windows 10 では、現在の DTVP 3.0 のパスワードが必要です。

-Windows 編完了-

セットアップ (Mac 環境)

DTVP 3.0 をノート PC またはデスクトップ PC の利用可能な USB ポートに挿入し、Mac OS が検出するのを待ちます。図 6.1 のように、デスクトップに DTVP 3.0 ボリュームが表示されます。



図 6.1- DTVP 3.0

1. DTVP30 CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
2. 図 6.2 のウィンドウで Mac フォルダをダブルクリックします。
3. 図 6.3 のウィンドウで DTVP30 アプリケーションアイコンをダブルクリックします。これにより、初期化プロセスが開始されます。

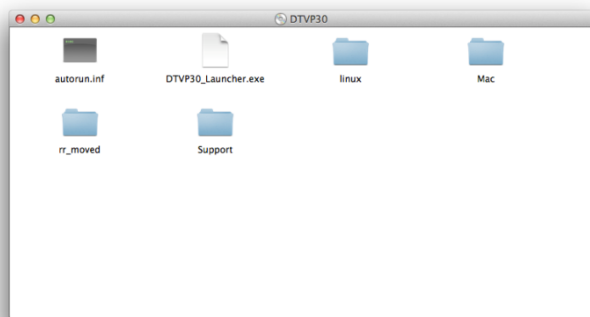


図 6.2- DTVP 3.0 の内容

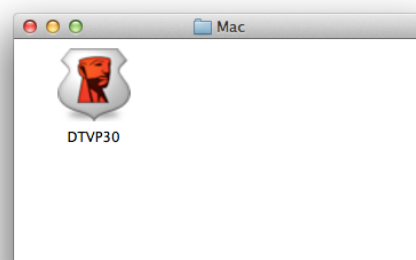
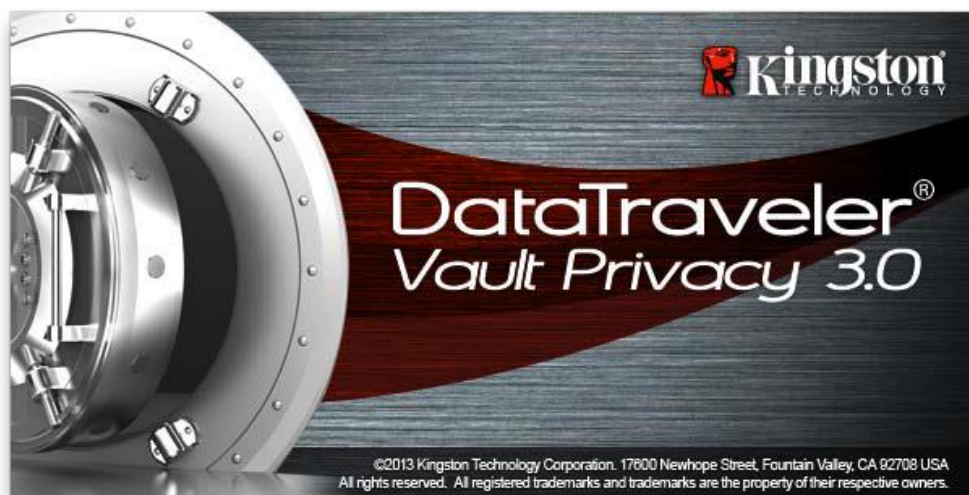


図 6.3- DTVP 3.0 アプリケーション



デバイスの初期化（Mac 環境）

1. ドロップダウンメニューから言語設定を選択し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 7.1](#)）。



図 7.1 - 言語選択

2. ライセンス契約を確認し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 7.2](#)）。（注：続行するにはライセンス契約に同意する必要があります。同意しない場合、[Next]（次へ）ボタンは無効状態となります）。



図 7.2 - ライセンス契約

3. DTVP 3.0 のデータを保護するためにパスワードを作成します。図 7.3 のように、[Password]（パスワード）の欄に入力し、[Password Confirmation]（パスワードの確認入力）の欄に再入力します。初期化プロセスを続行するには、作成したパスワードが以下の条件を満たしている必要があります。

1. 6 文字以上（最大 16 文字）。
2. 以下のうち 3 つ以上を含む：
 - 大文字、小文字、数字、特殊文字（!、\$ など）

パスワードのヒントを入力することもできますが、必須ではありません。ヒントの欄は、パスワードを忘れた場合に、手がかりを提供します。（注：ヒントはパスワードと同じにはできません）。



The screenshot shows the 'Device Initialization - DTVault Privacy' window for DataTraveler Vault Privacy 3.0. It is at step 3 of 4, indicated by the numbered tabs at the top. The main section is titled 'Password' and contains three input fields: '* Password:', '* Password Confirmation:', and 'Hint:'. Each field has a corresponding text box with masked characters (dots) or a placeholder. Below the confirmation field is a link icon with the text 'Password Rules'. At the bottom left, there is a note '* Mandatory field'. The bottom of the window features the Kingston logo and three buttons: '<Back', 'Next>', and 'Cancel'.

図 7.3 - パスワードの設定

4. テキストボックス（[図 7.4](#) 参照）に連絡先情報を入力してください（注：これらの欄に入力する情報は、ステップ 3 で作成したパスワードを含むことはできません。ただし、これらの欄は任意であり、空白のままにすることもできます）。

- [Name]（名前）の欄には最大32文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
- [Company]（企業）の欄には最大 32 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
- [Details]（詳細）の欄には最大 156 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。

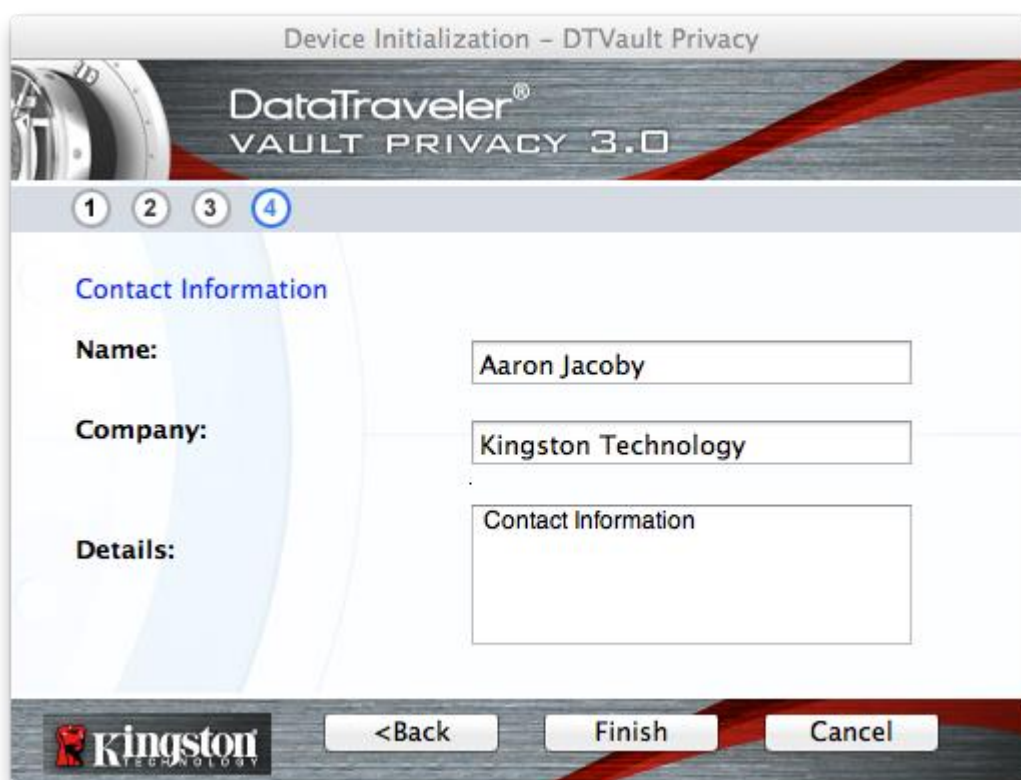
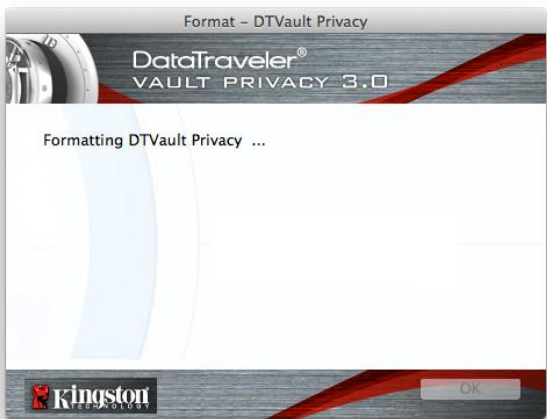
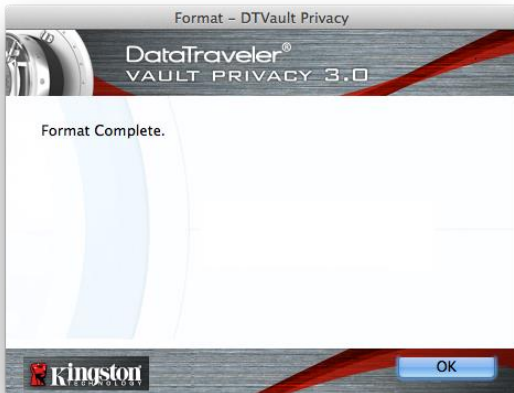



図 7.4– 連絡先情報

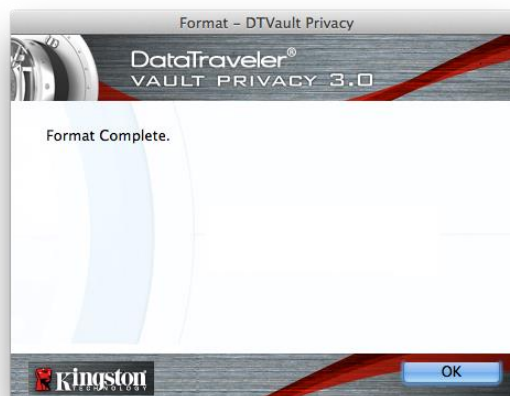
5. [Finish]（完了）をクリックしてデバイスの初期化を完了します。

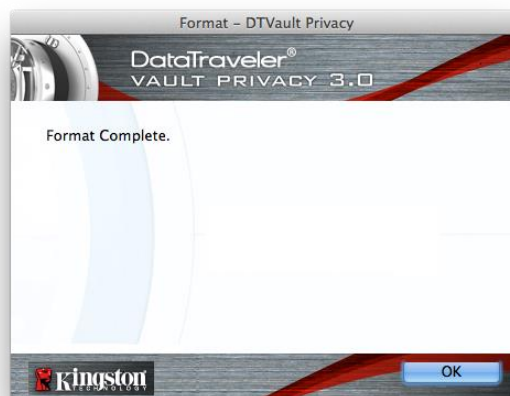
DTVP 3.0 はセキュアデータパーティションをフォーマットし（ 7.5）、完了すると通知します（ 7.6）。

6. [OK] をクリックして、続行します。



 7.5 - DTVP 3.0 のフォーマット



 7.6 - フォーマット完了

初期化完了。

デバイスの使用（Mac 環境）

DTVP 3.0 が初期化されたら、パスワードを使ってデバイスにログインすることで、セキュアデータパーティションにアクセスし、デバイスのオプションを利用することができます。これを行うには、以下の手順に従います。

1. DTVP 3.0 をノート PC またはデスクトップ PC の USB ポートに挿入し、パスワードを入力します（[図 8.1](#) 参照）。
2. パスワードを入力したら、[Login]（ログイン）ボタンをクリックして次に進みます。

- 正しいパスワードが入力されると、DTVP 3.0 のロックが解除され、デバイスの使用を開始できます。

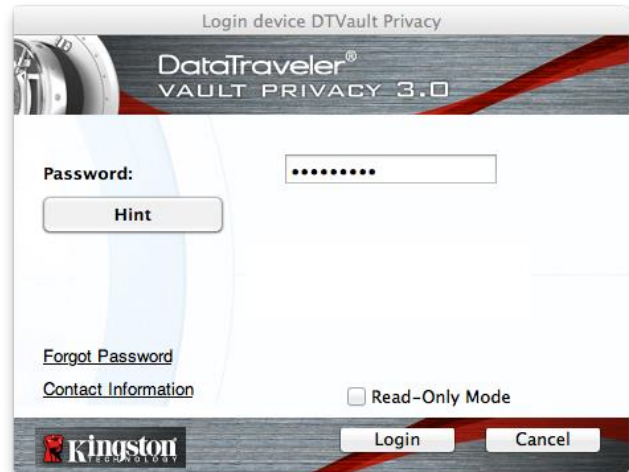


図 8.1 - ログインウィンドウ

- 不正なパスワードが入力された場合、ログインに失敗したことを示すエラーメッセージが [Hint]（ヒント）欄のすぐ下に表示されます。

（注：ログインプロセス中、不正なパスワードが入力された場合、正しいパスワードを入力し直すことができますが、ログインに失敗した回数を記録するセキュリティ機能が搭載されています*。この回数が既定の 10 回に達した場合、DTVP 3.0 はロックされ、次回使用前にセキュアデータパーティションのデバイスフォーマットが要求されます。これは、**DTVP 3.0 に保存されているすべてのデータが消去されることを意味します**。この機能の詳細については、20 ページの「デバイスのロックアウト」を参照してください）。

4. デバイスにログインする前に、[Read-Only Mode]（読み取り専用モード）欄を選択することで、読み取り専用モードのセキュアデータパーティションのロックを解除することができます（「書き込み禁止モード」とも呼ばれます）。読み取り専用で認証されると、DTVP 3.0 のコンテンツを開いたり閲覧したりすることはできますが、コンテンツの更新、変更、消去はできません。（注：また、読み取り専用モードの場合、19 ページで説明する DTVP 3.0 メニューにフォーマットオプションが表示されません）。

読み取り専用モードでログインしており、セキュアデータパーティションへの完全な読み取り/書き込みアクセスがある状態でデバイスのロックを解除したい場合は、DTVP 3.0 をシャットダウンし、ログイン前に [Read-Only Mode]（読み取り専用モード）チェックボックスをオフにしてログインし直す必要があります。

* デバイスの認証に成功すると、ログイン失敗カウンターはリセットされます。

デバイスのオプション (Mac 環境)

デバイスにログイン中、以下の図 9.1 のように Mac OS X Dock に DTVP30 アイコンが表示されます。



図 9.1 - Mac OS X Dock の DTVP 3.0 アイコン

Ctrl キーを押しながら DTVP30 のアイコンをクリックすると、図 9.2 のメニューが表示されます。



図 9.2
DTVP 3.0 のオプション

DTVP 3.0 Settings (DTVP 3.0 設定)

- パスワードやヒントの変更が可能 (図 9.3)
- 連絡先情報の追加・確認・変更が可能 (図 9.4)
- 言語選択の変更が可能 (図 9.5)



図 9.3
パスワードの変更



図 9.4
連絡先情報



図 9.5
言語の選択

(注：セキュリティ上、これらの設定を更新/変更するには、現在の DTVP 3.0 のパスワードが必要です)。

Browse DTVP 3.0

- ログイン中にセキュアデータパーティションの内容を参照可能

Format DTVP 3.0

- セキュアデータパーティションのフォーマットが可能（警告：データはすべて消去されます）。（[図 9.6](#)）

Online Support（インターネット接続が必要です）

- インターネットブラウザを開き、
<http://www.kingston.com/support/> から
サポート情報にアクセス



図 9.6- フォーマットの警告

DTVP 3.0 について

- アプリケーションおよびファームウェアのバージョン情報を含む、DTVP 3.0 に関する詳細情報を提供（[図 9.7](#)）。



図 9.7- DTVP 3.0 について

Shutdown DTVP 3.0

- DTVP 3.0 を適切にシャットダウンし、システムから安全に取り外す

-Mac 編完了-

セットアップ (Linux 環境)

(注：現在流通している Linux ディストリビューションでは、インターフェイスの外観や仕様がバージョンごとに異なる場合があります。とはいえ、ターミナルアプリケーションで使われる一般的なコマンドセットはよく似ており、以降の Linux の説明で参照することができます。本項のスクリーンショット例は、Linux Ubuntu v13.x 環境で作成されています)。



Linux の一部のディストリビューションでは、ターミナルアプリケーションウィンドウで DTVP 3.0 コマンドを正しく実行するために、スーパーユーザー (root) 権限が必要となります。

DTVP 3.0 をノート PC またはデスクトップ PC の利用可能な USB ポートに挿入し、Linux OS が検出するのを待ちます。すると、図 10.1 のように、デスクトップまたはサイドバーに DTVP30 ボリュームのアイコンが表示されます*。

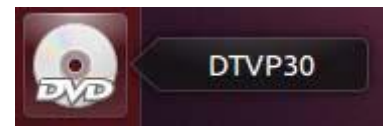


図 10.1 - DTVP30 ボリューム

DTVP 3.0 には、Linux で使用できるコマンドが 5 つあります。

dtvp_about、dtvp_forgotpassword、dtvp_initialize、dtvp_login、dtvp_logout

(注：これらのコマンドを実行するには、「ターミナル」アプリケーションのウィンドウを開き、各ファイルが存在するフォルダに移動する必要があります。各コマンドの前には次の 2 文字を付ける必要があります：./ (ピリオドとフォワードスラッシュ)。

32 ビットユーザーの場合は、「ターミナル」アプリケーションウィンドウを開き、プロンプトで以下のコマンドを入力して、カレントディレクトリを /media/adminuser/DTVP30/linux/linux32\$ に変更します。

cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux32 (ENTER を押します)。

64 ビットユーザーの場合は、「ターミナル」アプリケーションウィンドウを開き、プロンプトで以下のコマンドを入力して、カレントディレクトリを /media/DTVP30/linux/linux64\$ に変更します。

cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64 (ENTER を押します)。

*注：DTVP 3.0 ボリュームが OS によって自動的に読み込まれない場合は、ターミナルウィンドウで Linux マウントコマンドを使用してボリュームを手動でロードする必要があります。適切な構文とコマンドオプションについては、お使いの OS ディストリビューションの Linux ドキュメント、またはオンラインサポートサイトを参照してください。

デバイスの初期化（Linux 環境）

DTVP 3.0 がコンピュータに接続され、OS によって認識された後、最初の使用前にデバイスを初期化する必要があります。そのためには、「ターミナル」アプリケーション（またはコマンドラインウィンドウ）を開き、以下の手順に従ってください。

（注：本項のスクリーンショットと説明は、Linux OS での DTVP 3.0 デバイスの使用を示す目的で、**linux64** フォルダ（64 ビットの場合）を使用しています。32 ビット版の Linux を使用している場合は、64 ビットフォルダではなく、32 ビットフォルダに移動してください（**linux64** ではなく **linux32**）。

1. ターミナルプロンプトで以下のコマンドを入力し、DTVP 3.0 ボリュームにディレクトリを変更します（[図 10.2](#) を参照）。



```
adminuser@Inspiron-1525: /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64
adminuser@Inspiron-1525:~$ cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64
adminuser@Inspiron-1525:/media/adminuser/DTVP30/linux/linux64$
```

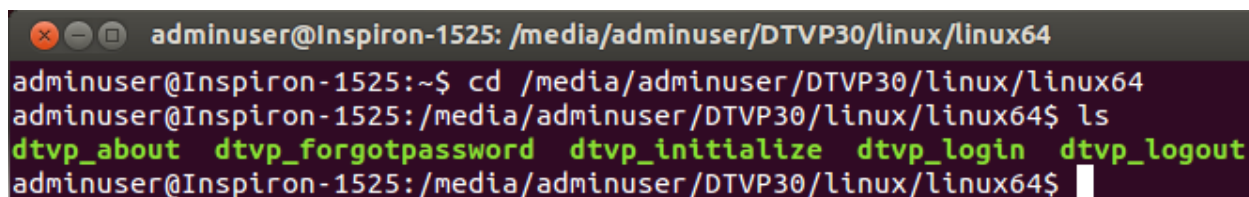
図 10.2 - コマンドラインナビゲーション

cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64

（注：コマンドとフォルダ（ディレクトリ）名は大文字と小文字を区別します。つまり、**linux32** と **Linux32** は区別されます。構文についても、示されたとおりに正確に入力する必要があります）。

この例のユーザー名は「adminuser」であるため、パスに表示されます。構文とパスは、お使いの linux のバージョンによって異なる場合があります。

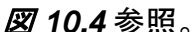
2. 現在のプロンプトに **ls**（小文字の L）と入力し、**ENTER** を押します。これで、**/media/adminuser/DTVP30/linux/linux32**（または **linux64**）フォルダ内のファイルやフォルダのリストが表示されます。[図 10.3](#) のように、**dtvp_about**、**dtvp_forgotpassword**、**dtvp_initialize**、**dtvp_login**、**dtvp_logout** の 5 つの DTVP 3.0 コマンドが表示されます。



```
adminuser@Inspiron-1525: /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64
adminuser@Inspiron-1525:~$ cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64
adminuser@Inspiron-1525:/media/adminuser/DTVP30/linux/linux64$ ls
dtvp_about dtvp_forgotpassword dtvp_initialize dtvp_login dtvp_logout
adminuser@Inspiron-1525:/media/adminuser/DTVP30/linux/linux64$
```

図 10.3 - DTVP 3.0 コマンド一覧

-本マニュアルの Linux 編は、Ubuntu 13.x の 64 ビット版に基づいています-

3. DTVP 3.0を初期化するには、ターミナルプロンプトで以下のコマンドを入力し、*ENTER* を押します。*./dtvp_initialize**（コマンドは大文字と小文字を区別します）。
 図 10.4 参照。



```
adminuser@Inspiron-1525: /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64
adminuser@Inspiron-1525: /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64$ ./dtvp_initialize
```

図 10.4 - DTVP 3.0 コマンドの実行

4. *ENTER* を押すと、ライセンス契約がターミナルウィンドウに表示されます。*Y* を押してライセンス契約に同意し、続行します。（注：*N* を押してライセンス契約に同意しない場合、ターミナルプロンプトに戻り、ステップ 3 を繰り返して *Y* を押すまで、初期化プロセスを続行できなくなります）。
5. ライセンス契約に同意すると、セキュアデータパーティションに保存されたファイルを保護するためのパスワードを入力（作成）するよう求められます。初期化プロセスを続行するには、作成したパスワードが以下の条件を満たしている必要があります。
 - a. 6 文字以上（最大 16 文字）。
 - b. 以下のうち 3 つ以上を含む：
 - 大文字、小文字、数字、特殊文字 (!, \$ など)
6. パスワードの再入力を求められたら、コマンドラインにパスワードを再入力し、*ENTER* を押して確認します。パスワードが一致すれば、DTVP 3.0 が正常に初期化されたことが通知されます。パスワードが一致しない場合は、正しいパスワードを確認するようメッセージが表示されます。その場合、ステップ 3 から 6 を繰り返します。

パスワードを作成すると、デスクトップに安全なデータボリューム（パーティション）が表示されます。これは、初期化プロセスが成功し、完了したことを意味します。これで、DTVP 3.0 の使用を開始することができます。

**注：Linux の一部のディストリビューションでは、ターミナルアプリケーションウィンドウで DTVP 3.0 コマンドを正しく実行するために、スーパーユーザー（root）権限が必要となります。*

デバイスの使用（Linux 環境）

DTVP 3.0 が初期化されたら、23 ページで作成した DTVP 3.0 のパスワードを使用してデバイスにログインすることで、セキュアデータパーティションにアクセスできます。これを行うには、以下の手順に従います。

1. 「ターミナル」アプリケーションウィンドウを開きます。
2. ターミナルプロンプトで次のコマンドを入力します。
cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64
3. コマンドプロンプトが **/media/adminuser/DTVP30/linux/linux64\$** にある状態で、以下のコマンドを入力してデバイスにログインします。**./dtvp_login***。ENTER を押します。
（注：コマンドとフォルダ名は大文字と小文字を区別し、正確な構文を入力する必要があります）。
4. DTVP 3.0 のパスワードを入力し、ENTER を押します。ログインに成功すると、セキュアデータボリュームがデスクトップに開き、DTVP 3.0 を使用できるようになります。

ログインプロセス中、不正なパスワードが入力された場合、ステップ 3 を繰り返すことで正しいパスワードを入力し直すことができますが、ログインに失敗した回数を記録するセキュリティ機能が搭載されています*。この回数が既定の 10 回に達した場合、DTVP 3.0 はロックされ、次回使用前に **dtvp_forgotpassword** コマンドを実行してデバイスを初期化する必要があります。このプロセスで新しいパスワードを作成できますが、データのプライバシーを保護するため、DTVP 3.0 はセキュアデータパーティションをフォーマットします。つまり、すべてのデータが失われます。

dtvp_forgotpassword プロセスが完了し、新しいパスワードの設定に成功すると、ログインの失敗を記録する内蔵のセキュリティカウンターがリセットされます（注：最大試行回数（Maximum Number of Attempts、略して MaxNoA）に達する前にログインに成功すると、ログイン失敗カウンターがリセットされます）。

データ保護のため、DTVP 3.0 の使用終了時にはデバイスからログアウトしてください。これを行うには、以下の手順に従います。

1. 「ターミナル」アプリケーションウィンドウを開きます。
2. 次の linux64 フォルダに移動します。**cd /media/adminuser/DTVP30/linux/linux64**
3. コマンドプロンプトが **/media/adminuser/DTVP30/linux/linux64\$** にある状態で、以下のコマンドを入力してデバイスから正常にログアウトします。**./dtvp_logout***。ENTER を押します。（注：コマンドとフォルダ名は大文字と小文字を区別し、正確な構文を入力する必要があります）。
4. DTVP 3.0 をシステムから取り外し、安全な場所に保管してください。

*注：Linux の一部のディストリビューションでは、ターミナルアプリケーションウィンドウで DTVP 3.0 コマンドを正しく実行するために、スーパーユーザー（root）権限が必要となります。

-Linux 編完了-

ヘルプとトラブルシューティング

デバイスのロックアウト

DTVP 3.0 には、最大連続ログイン試行回数（Maximum Number of Attempts、略して *MaxNoA*）を設定し、データパーティションへの不正アクセスを防止するセキュリティ機能があります。出荷時のデフォルト設定は、10 回となっています。

「ロックアウト」カウンターは、ログイン失敗を記録し、次のいずれかでリセットされます。

1) *MaxNoA* に達する前にログインに成功した場合、または 2) *MaxNoA* に達し、デバイスフォーマットを実行した場合。

不正なパスワードが入力された場合、ログインに失敗したことを示すエラーメッセージが *[Hint]* 項目のすぐ下に表示されます。図 11.1 参照。

7 回目の試行に失敗すると、*MaxNoA*（デフォルトでは 10 回）に達するまであと 3 回試行できることを示す追加のエラーメッセージが表示されます。図 11.2 参照。

ログインに 10 回以上失敗すると、DTVP 3.0 はデータパーティションを永久にブロックし、次回使用前にデバイスのフォーマットを要求します。つまり、DTVP 3.0 に保存されているデータはすべて失われ、新しいパスワードを作成する必要があります。

このセキュリティ対策により、（パスワードを知らない）何者かが何度もログインを試みて、機密データにアクセスすることを防ぐことができます。

DTVP 3.0 の所有者がパスワードを忘れた場合でも、デバイスのフォーマットを含め、同様のセキュリティ対策が実施されます。*

この機能の詳細については、26 ページの「パスワードを忘れた場合」を参照してください。

*注：デバイスフォーマットが実行されると、DTVP 3.0 のセキュアデータパーティションに保存されているすべての情報が消去されます。



図 11.1 - ログイン失敗

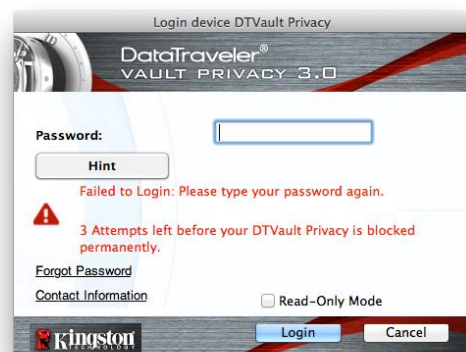


図 11.2 - 7 回目のログイン失敗

パスワードを忘れた場合（Windows および Mac）

パスワードを忘れた場合は、DTVP 3.0 実行時にログインウィンドウに表示される [\[Forgot Password\]](#)（パスワードを忘れた場合）リンクをクリックします（[図 11.3](#) 参照）。

このオプションで新しいパスワードを作成できますが、データのプライバシーを保護するため、DTVP 3.0 はフォーマットされます。つまり、セキュアエリアに保存されたデータはすべて消去されます。*

[\[Forgot Password\]](#)（パスワードを忘れた場合）をクリックすると、メッセージボックス（[図 11.4](#)）が表示され、フォーマットを実行する前に新しいパスワードを入力するか尋ねられます。この時点で、1) [OK] をクリックして確定するか、2) [Cancel] をクリックしてログインウィンドウに戻ることができます。

続行を選択すると、新しい複雑なパスワードとヒントを作成するよう求められます。ヒントの項目は必須ではありませんが、パスワードを忘れた場合に、手がかりを提供します。

（注：ヒントは DTVP 3.0 のパスワードと完全に一致してはいけません）。

パスワードを忘れた場合（Linux）

パスワードを忘れた場合は、「ターミナル」アプリケーションウィンドウの `/media/DTVP30/linux/linux32$` プロンプトから `dtvp_forgotpassword` コマンドを実行することができます。このオプションで新しいパスワードを作成できますが、データのプライバシー保護のため、DTVP 3.0 はフォーマットされます。つまり、セキュアデータパーティションに保存されたデータはすべて消去されます。

*注：デバイスフォーマットが実行されると、DTVP 3.0 のセキュアデータパーティションに保存されているすべての情報が消去されます。

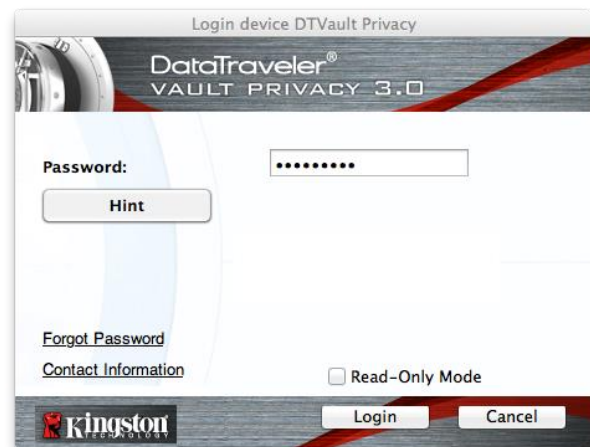


図 11.3 - パスワードを忘れた場合



図 11.4 - フォーマット前のプロンプト

ドライブレターの競合 (Windows OS)

本マニュアルの「システム要件」の項 (3 ページ) で述べたように、DTVP 3.0 では、ドライブレターの割り当てにおいて「ギャップ」の前に表記される最後の物理ディスクの後に、連続した 2 つのドライブレターを必要とします (図 11.5 参照)。これは、ネットワーク共有には関係しません。なぜなら、ネットワーク共有はシステムハードウェアプロファイル自体ではなくユーザープロファイルに固有であり、OS で利用できるように見えるためです。

これは、Windows が DTVP 3.0 に、すでにネットワーク共有や UNC パスで使用されているドライブレターを割り当て、ドライブレターが競合を引き起こす可能性があることを意味します。このような場合は、Windows のディスク管理 (管理者権限が必要) でドライブレターの割り当てを変更する方法について、管理者またはヘルプデスク部門にご相談ください。

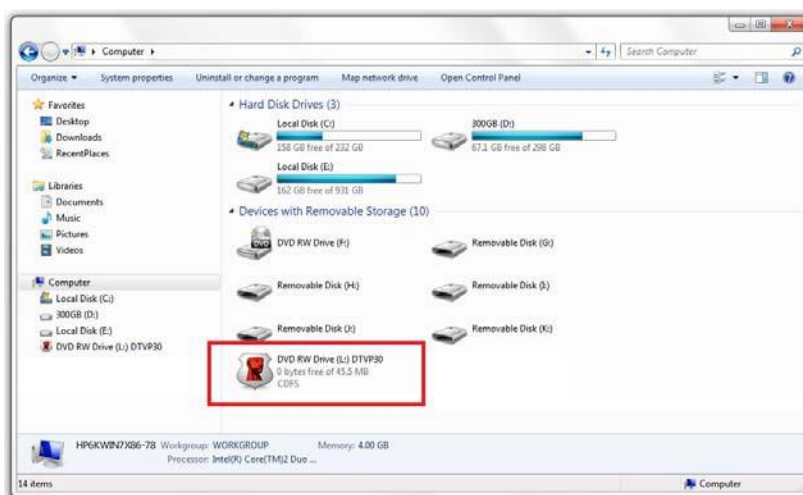


図 11.5 - マイコンピュータ

この例では、DTVP 3.0 はドライブ F : を使用します。ドライブ F : は、ドライブ E : (ドライブレターギャップ前の最後の物理ディスク) の次に使用可能なドライブレターです。G : はネットワーク共有であり、ハードウェアプロファイルの一部ではないため、DTVP 3.0 はこれを 2 番目のドライブレターとして使用しようとし、競合を引き起こす可能性があります。

システム上にネットワーク共有がなく、DTVP 3.0 が読み込まれていなくても、カードリーダー、リムーバブルディスク、または以前にインストールされた他のデバイスがドライブレターの割り当てを保持し、競合を引き起こす可能性があります。

ドライブレター管理 (DLM) は Windows a、7、8.x、10 で大幅に改善されているため、この問題に遭遇する可能性は低いですが、競合を解決できない場合は、Kingston のテクニカルサポート部門にお問い合わせください。

エラーメッセージ

Unable to create file（ファイル作成できません） – このエラーメッセージは、読み取り専用モードでログインしているときに、セキュアデータパーティション上にファイルやフォルダを作成しようとしたときに表示されます。

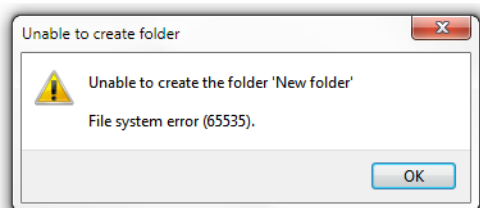


図 12.1 - Unable to create file エラー

Error Copying File or Folder（ファイルまたはフォルダのコピー時にエラーが発生しました） – このエラーメッセージは、読み取り専用モードでログインしているときに、セキュアデータパーティションにファイルやフォルダをコピーしようとしたときに表示されます。

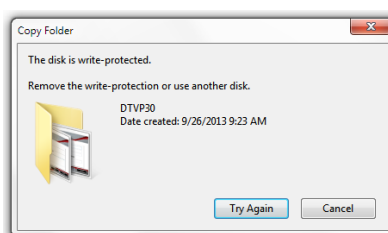


図 12.2 - Error Copying File or Folder エラー

Error Deleting File or Folder（ファイルまたはフォルダの削除時にエラーが発生しました） – このエラーメッセージは、読み取り専用モードでログインしているときに、セキュアデータパーティションからファイルやフォルダを削除しようとしたときに表示されます。

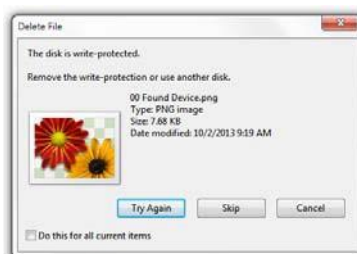


図 12.3 - Error Deleting File or Folder エラー

読み取り専用モードでログインしており、セキュアデータパーティションへの完全な読み取り/書き込みアクセスがある状態でデバイスのロックを解除したい場合は、DTVP 3.0 をシャットダウンし、ログイン時に [Read-Only Mode]（読み取り専用モード）チェックボックスをオフにしてログインし直す必要があります。

DTVP 3.0 Linux コマンド

コマンド	構文*	説明
dtvp_about	<i>./dtvp_about</i>	DTVP 3.0 のシリアル番号、ファームウェア、アプリケーションバージョンを表示 ユーザーが DTVP 3.0 にログインしているか否かにかかわらず実行可能
dtvp_forgotpassword	<i>./dtvp_forgotpassword</i>	DTVP 3.0 をリセットし、新しいパスワードを作成 ユーザーが DTVP 3.0 デバイスにログインしていない場合にのみ実行可能 (セキュアデータパーティションに保存されたデータはすべて失われます)
dtvp_initialize	<i>./dtvp_initialize</i>	DTVP 3.0 を初期化し、デバイスの初回使用時のみ準備を行う
dtvp_login	<i>./dtvp_login</i>	セキュアデータパーティションにユーザーをログインさせるために、DTVP 3.0 のパスワードの入力を要求する ユーザーが DTVP 3.0 デバイスにログインしておらず、デバイスが初期化された場合にのみ実行可能
dtvp_logout	<i>./dtvp_logout</i>	DTVP 3.0 からユーザーをログアウトし、セキュアデータパーティションを閉じる ユーザーが DTVP 3.0 デバイスにログインしている場合にのみ実行可能

*注 : DTVP 3.0 Linux コマンドを実行するには、「ターミナル」アプリケーションのウィンドウを開き、各ファイルが存在するフォルダに移動する必要があります。各コマンドの前には次の 2 文字を付ける必要があります。./ (ピリオドとフォワードスラッシュ。上の表を参照)。

Copyright © 2023 Kingston Technology Corporation, 17600 Newhope Street, Fountain Valley, CA 92708 USA.無断転載を禁じます。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
その他記載されている商標および著作権は、各所有者に帰属します。

Kingston は、本書に含まれる技術的または編集上の誤りや脱落、およびこの資料の提供または使用に起因する偶発的または結果的損害について責任を負いません。本書に記載されている情報は、予告なしに変更されることがあります。Kingston は、発行日以降に提示された情報の正確性を保証しません。本書は情報提供のみを目的としています。Kingston は本書において、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。

著作権者から事前の許可を得ていない限り、作品または派生作品を商業目的で標準的な（紙面の）書籍の形で配布することは禁止されています